

液化水素積荷/揚荷基地 (~10,000m³貯蔵タンククラス)

世界トップクラスのBOG^{*}発生率を達成

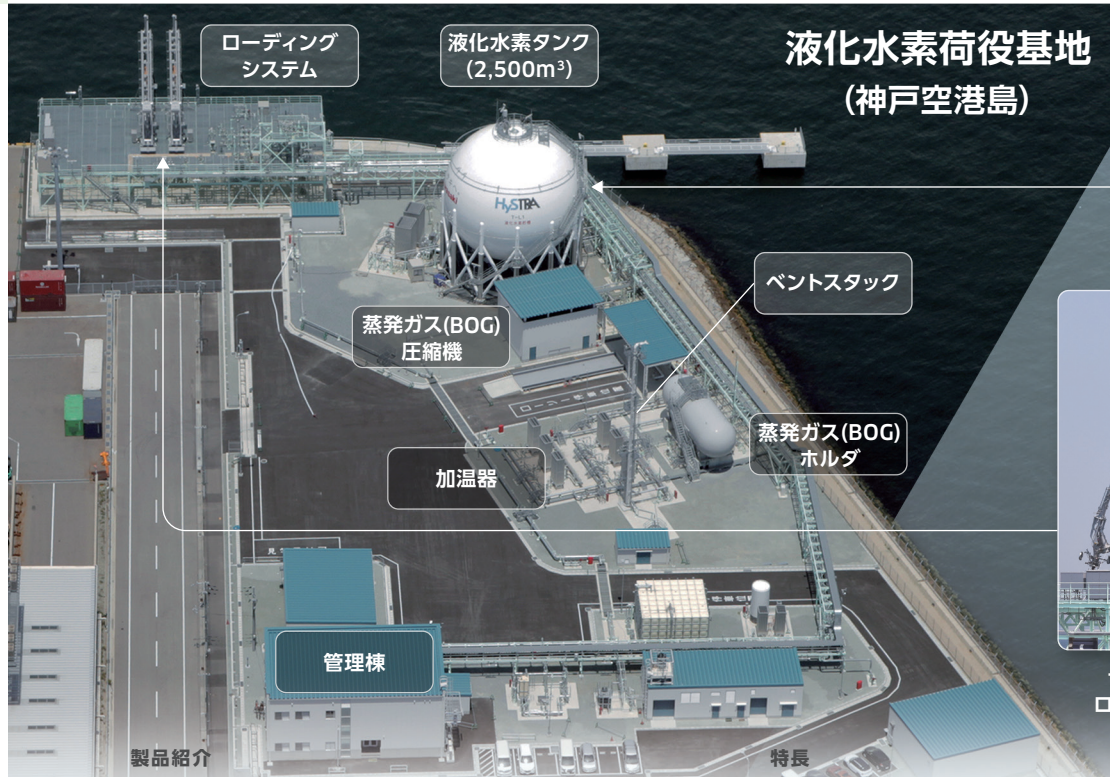
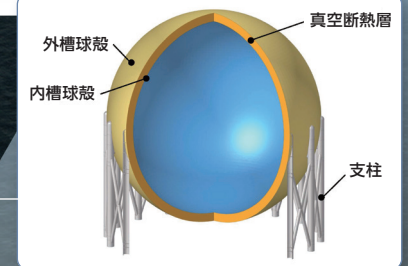
基地の主要構成要素である液化水素タンクにおいて、BOG発生率を大幅に低下しています。
液化水素タンクはもちろん、基地の構成要素（ローディングアーム、接続配管等）についても、真空二重構造により、液化水素の蒸発ロスを極限まで低減しています。

※BOG: Boil off Gas (自然蒸発ガス)

液化水素タンクのBOG

	従来製品	本製品
BOG(%/1日)	0.18以下	0.1以下

国内最大2,500m³
液化水素タンク



液化水素荷役基地 (神戸空港島)



世界初の液化水素
ローディングシステム

提供: HySTRA

製品紹介

水素サプライチェーン構築に必要な液化水素を輸出入、および国内輸送・貯蔵を可能とする基地です。
主に、ガス水素を液水素に変える水素液化システム、液化水素を貯蔵する液化水素タンク、液化水素を船に揚荷・積荷するローディングアームや輸送配管、液化水素コンテナなどで構成されます。

特長

- 液化水素として取り扱うことで、必要容積がガスの1/800となるため、コンパクトな基地設計が可能
- 基地を構成する液化システム、貯蔵タンク、ローディングアーム、輸送配管、液化水素コンテナなど主要機器は真空二重構造（高断熱構造）を採用
- -253℃の液化水素を保持し省エネを達成するとともに、機器周りの極低温雰囲気を防ぐ構造で安全を確保



2021

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class